

私たち、輝きたい!

PRESENTED BY MINARUI

# チカアイズ!

School idol lovehour

## サンシャイン!!

レスの世界  
輝きに向かって羽ばたく、<sup>ガチレス三人</sup>曜と梨子と<sup>千歌</sup>の青春ドラマ!

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

HTML + JPEG形式 (PDF版同梱) ストーリー付き成人向けCG集

ね…ねえ  
梨子ちゃん…

千歌ちゃん  
じゃなくて  
私に？

うん  
千歌ちゃんのことだから  
梨子ちゃんにしか  
相談出来ないんだ…

ちょっと…  
相談があるんだけど…  
聞いてくれる？

私で良ければ  
相談には乗るけど…

私なんかで力に  
なれるかな？

大丈夫！

梨子ちゃんが  
力になってくれるなら  
百人力だよ♡



それで  
相談て何？

千歌ちゃんの方は  
曜ちゃんの方が  
詳しいと思うけど…

えっとね…  
私…千歌ちゃんと  
もっと色んなことが  
したいんだ

でもね…

今したいって  
思っていること…  
私だけじゃ自信が  
ないというか…  
恥ずかしいというか…

千歌ちゃんが  
乗ってきてくれるか  
分からないんだよね…

それでね  
上手くいくように  
梨子ちゃんにも  
協力して欲しいんだ

私に出来ることなら  
協力するのは  
かまわないんだけど…

協力って  
私は何をしたら  
良いの？

そもそも  
曜ちゃんが千歌ちゃんと  
今したいことって  
具体的にはどんなことなの？

ふふふっ  
それはね…

三十一

ちよ…ちよつと  
囉ちゃん!?

な…何?  
何してるの!?

梨子ちゃんはず  
千歌ちゃんに  
こういふこと  
して欲しくない??

ちよ...ちよこと  
よ...曜ちゃん...?

い...いきなり  
何を!?

くぽっ

私ね  
千歌ちゃんと  
こんな風に  
エッチなこと  
してみたいんだ

梨子ちゃんも  
興味あるでしょ?

わ…私は別に…  
ち…千歌ちゃんと…  
え…エッチなことを  
したいだなんて…

かあ～

そっだね  
梨子ちゃんは  
「したい」と「どうやら」  
「して欲しい」と「して」  
感じかな？

私知ってるよ？  
梨子ちゃん「こいつの」  
好きだよな？

カミカミ



ちよっちよちよ  
ちよっつと！

よ…曜ちゃんが…  
な…何故それを…

ど…どこで？  
誰に聞いたの？

バレバレだよ？  
東京行った時  
買ってたよね？

よ…  
曜ちゃんの他にも  
気が付いている人は  
いるの…？

多分  
まだ私だけ  
少なくとも  
千歌ちゃんは  
気付いてないと  
思うよ

よ…良かった…

それで

梨子ちゃんは  
こういうこと  
されたいんだよね？  
千歌ちゃんに

そ…それは…

カベクイ

vol. 69

永久保存版！  
オールスター登場

「壁ドン」「壁クイ」ところか  
協力さえしてくれば  
「壁マン」やそれ以上のこと  
だっていけると思うよ？

か…壁マン…  
そ…それ以上の  
ことも…

ほら 想像してみて  
千歌ちゃんに  
ここをこうやって  
弄られてる自分の姿を…

ぐにっ

あっ…駄目っ…  
あっ…あああ…

あああ…





アッ

梨子ちゃん  
もう逃げられないよ？

さあ観念して  
私のものになって

私だけの為に  
特別な声を聴かせて

ち…千歌ちゃん?  
どうしたの?

今日の千歌ちゃん  
何か変よ?

変なのは  
梨子ちゃんの方だよ?

そんな格好して  
私のこと誘ってる  
んでしょ?

えっ…あ…あれ?  
何で私達…裸なの!?

ほら  
行くよ?

あふっ

あああつ！

千歌ちゃん！  
駄目っ！  
やめて！  
やめてえ！

梨子ちゃん  
本当にやめて良いの？

下の口は  
続けて欲しいって  
言ってるよ？

だ…だって私…  
ち…千歌ちゃんに  
こんなことされたら  
が…我慢出来なく…  
なっちゃっ…

梨子ちゃん…  
何を我慢しているのか  
知らないけど  
我慢なんてしなくて  
良いんだよ？

自分の気持ちに  
素直になつて

さあ身も心も  
私に委ねて♡

ああ…だ…駄目…  
駄目よ千歌ちゃん！

こ…これ以上されたら  
わ…私…ほ…本当に…

あつ…駄目…  
ああああ…

ちゅ

ちゅ



あっ...あっ...  
あああ...  
駄目...もう駄目...  
私...私...

はぁ

はぁ

気持ち良い？  
気持ち良いんだよね？

梨子ちゃん  
凄  
梨子ちゃんのこと  
大変なこと  
なってるよ？

はぁ

はぁはぁはぁ

ちゅ

ちゅ





干歌ちゃん！  
干歌ちゃん！

気持ち良い…  
気持ち良い！

はあ

はあ

ふんしゅううう！！

好きー好きー！  
大好きー！！

はあ



どう？  
気持ち良かった？

梨子ちゃん 途中から  
千歌ちゃんの名前  
叫んでたよ？

.....  
よ...曜ちゃん...

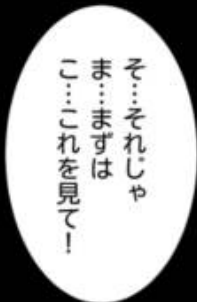
ねえ 梨子ちゃん  
千歌ちゃんに  
して欲しいよね？  
こっぴどく



協力して  
くれるよね？

チカアィブ!  
*School idol lovehour*  
サニシァイコ!!





えっ何？  
どこを見れば良いの？

ほほらわ…私の  
ス…スカートの下…

カ  
ツ  
ツ



たら〜

うわっ  
よ…囁ちゃん…

これでバレた…  
私が千歌ちゃんを見て  
欲情しちゃうような  
変態でエッチな子だって…

……

だ…大丈夫…  
これからは自分の  
気持ちを隠さず  
千歌ちゃんと  
そういう関係に  
なるんだから…



パンツ  
はき忘れてるよ？



ち…違うよ！

はき忘れてる  
んじゃないわ  
ざとはいて  
ないんだよ！

えっ…？ 何で？  
水泳部でそういうの  
流行ってるの？

流行ってないよ！  
しほんく行ってないけど…

そうじゃなくて  
よく見て！

ほ…ほら…私の  
あ…アソコを…

何？  
アソコってどこ？  
はっきり言ってみよ

あ…アソコは  
アソコだよ…

ほっほら  
こ…股間の…私の  
お…おまんこを  
よく見て…

えっ何？  
おまんこ？



あっ…  
何か滞ってる…

そう…  
滞ってるの…

まさか…  
曜ちゃん…

完璧だ…  
こ…今度こそ  
完全にバレた…  
これでもう後には  
引けない！



お…お漏らし？

こ…この歳で…  
さ…流石にそれは…  
そうか…  
それでパンツを…

ち…違うよ！

私 お漏らし  
なんかしてないし！

曜ちゃん  
隠さなくても  
大丈夫だよ！

私このことは  
絶対に誰にも言わない！  
二人だけの秘密に  
しておくから！

二人だけの秘密…って  
その響きには惹かれるけど  
そうじゃないでしょ！

そもそも  
隠してないし  
見せてるんだよ？

あっ  
そうだった  
見せられてるん  
だった

ということとは…  
私の部屋でお漏らし  
しちゃったことを  
私に告白？

そうじゃなくて  
もうお漏らしから  
離れて！

これは  
オシッコじゃなくて

愛液！

私 千歌ちゃんと  
二人きりになって  
愛液が流れてくるくらい  
欲情しちゃってるの！

えっ…何それ？  
どういふこと？

私…いつの頃からか  
千歌ちゃんと二人きりになったり  
千歌ちゃんのことを考えたりすると  
すくこうなるように  
なっちゃったんだ…

私…千歌ちゃんのことを  
好きで好きで大好きで  
千歌ちゃんとエッチなことが  
したくてしたくて堪らないの！



ち…千歌ちゃん…  
わ…私と…  
え…エッチなこと…  
してくれる？

かあ～

え…エッチって…  
わ…私と千歌ちゃん…？

そう  
私と千歌ちゃん…！

わ…私も  
千歌ちゃんのこと  
大好きだけど…

え…エッチなことが  
したいとか  
そういうのとは  
ちよっと違うし…

きゅ…急にそんなことを  
い…言われましても…  
わ…私も何て言ったら  
良いのか…







ああああ…駄目…  
ち…千歌ちゃんが  
見てるのに…

と…止まらない！

いや…違う…  
千歌ちゃんが  
見てるからだ…

千歌ちゃんが  
見てるから  
止まらないんだ！

ああ…見て…  
千歌ちゃん！

私の恥ずかしいところを！  
恥ずかしい姿を！

これが本当の  
千歌ちゃんと一緒にの  
私なの！

くちゅ

くちゅ

はあ

はあ

はあ



ああ…私…  
見られてる！  
千歌ちゃんに！

千歌ちゃんに欲情して  
千歌ちゃんでおナニーしてる  
エッチな姿を！

はあ

はあ

はあ

はあ

あつ…あつ…  
あああ…駄目…  
駄目えええええ！

はあ

はあ

はあ

ちゅ

ちゅ





あぁ...駄目...  
こんなんじゃ足りない...  
はぁ

よ...囉...ちゃん...?  
だ...大丈夫...?

ちゅ ちゅ  
だら〜

はぁ

はぁ

えっ…  
よ…曜ちゃん…?

何…何で  
脱いでるの…?



ち…千歌ちゃん…

はあ

ほら見て…

はあ

もっと  
私の「こ」を…

はあ

千歌ちゃんと  
エッチなことを  
したくて  
堪らなくて

くちよくちよに  
なってる膣内を！

はあ

くぼっ

見てる見てる  
見てるから！

とりあえず一旦  
落ち着こうよ！



私もちょっと  
落ち着くから  
待って！



千歌ちゃんが私を…私だけを…

ああ…千歌ちゃんが…私のお内…

ああああ…駄目…イク…イク…

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

セクセク



ああああ  
千歌ちゃん…

千歌ちゃんああああん!

アハハハ!

えっ…えっ…  
何…?  
何してるの!?

よ…曜ちゃん!?



り…梨子ちゃん…  
やっぱり千歌ちゃんは  
私達とは違って  
ノンケだったよ…

しかも…  
今のところ脈無し…

そ…それじゃ  
後はお願い…

えっ…?  
梨子ちゃんも  
来たの?

曜ちゃん…  
千歌ちゃんが  
ノンケだなんて  
ほほほ分かってた  
ことなのに…

僅かな希望に賭けて  
体を張った見事な  
玉砕だったわ…

えっ…何?  
二人で何の話  
してるの?

千歌ちゃん…  
ごめんね…

えっ!?  
ちょ…ちょっと  
梨子ちゃん  
何してるの?

えっ…何…

えっ…

えっ…

えええっ!?



こ...これ何？  
何なの？  
ちゃんと説明してよ！

え〜とね…

私達 千歌ちゃんと  
エッチなことをしたい  
もしくはしてもらいたい  
んだけど

普通に面と向かって頼んでも  
千歌ちゃんがノンケだった場合  
何それ？って感じで  
流されちゃうでしょ？

ちょっと強引かとは  
思ったんだけど  
これしか思い  
つかなくて…

ごめんね  
千歌ちゃん…

そ…それはまあ…  
たぶん…  
そつするかも…

反応が駄目そうなら  
まずは千歌ちゃんにも  
女の子同士のエッチなことを  
好きになってもらう計画で

結果…駄目そうだったから  
千歌ちゃんにエッチなことを  
好きになってもらうために

とりあえず  
逃げられないように  
拘束しました

という訳です

だからね  
まずは千歌ちゃんが  
私達と同じかどうか  
体張って確かめてみて



体張って確かめるって  
曜ちゃんのおれ?

あれに対して私は  
どんな反応をすれば  
良かったの?

そ...それは...ほら...  
実は私もって感じて  
一緒にエッチなことを  
してくれる...とか...?

いきなり  
あんなことされて  
そんな反応無理だよ...  
無理ゲーだよ...

それじゃ  
改めて聞くけど

千歌ちゃん  
私達とエッチなこと  
してくれる?



えっ…あっ…いや…  
あ…改めて言われましても…  
そ…それはちよっと…  
まだ心の準備が…

あっ…いや…べ…別に  
曜ちゃん梨子ちゃんとか  
嫌だって訳じゃないんだよ？

寧ろ  
そういうことをするなら  
曜ちゃん梨子ちゃんど！  
って思うし…

でもね  
ほら…女の子同士で  
そういうことを  
するってこと自体が…  
あっ…いや…  
男の子となら良いって  
訳でもないんだけど…

そうほら  
私達にはまだ早い！  
とかそんな感じ？



要するに  
千歌ちゃんは

少なくとも  
今は私達と  
エッチなことを  
する気はない

ってことだよな？

ちょ…ちょっと  
違っけど…

そ…そうなる…  
のかな…？

梨子ちゃん  
そういうことらしいから  
そろそろ始めようか

そうね  
早く千歌ちゃんにも  
こっち側に来て  
もらわないとね♡

ニッコ

よ…唯ちゃん…？  
梨子ちゃん…？  
も…もうちょっとだけ  
話し合わない？

もう話し合いじゃ  
無理かな？

大丈夫  
安心して  
千歌ちゃん

痛くないから♡

な…何  
その大きいの…  
そ…それ…  
どうするの…？

そんなの  
決まってる  
でしょう？





ここに  
挿入されるのよ♡

ほらこんなに  
広がるんだから  
大丈夫よ♡

ちよ…ちよっつと  
やだ何してるの!?  
そんなところ  
広げないでよ!

恥ずかし  
がらなくても  
大丈夫よ  
千歌ちゃんのこと  
とっても綺麗  
だもの♡

み…見ないでえ!

それじゃ  
いくわね♡

ちよ…ちよっつと  
待って!  
梨子ちゃん!

そんなの無理!

やめて…  
やめてえええ!



大丈夫！  
すぐに気持ち良くなるから♡

はうっ！  
痛い！  
痛いよ  
梨子ちゃん！



私も本当はこういうのは  
趣味じゃないんだけど

千歌ちゃんの為に  
がんばるから  
千歌ちゃんも  
私達の為に頑張って！

それなら  
頑張らなくて良いよ！  
私も頑張らないからあ！

はい  
スイッチ・オン♡



あっ…駄目…  
まだ痛いのに…  
腔内で…動いて…

んあっ…あああ…



どう?  
千歌ちゃん  
気持ち良くなって  
来ない?

ほあ  
ぜ...全然...  
き...気持ち良くなんて...  
な...って来ないから!  
ほあ  
は...早くこれ  
抜いて...

ほあ  
千歌ちゃん  
嘘を言っても  
駄目よ?

体が気持ち良いつて  
お汁を流し  
始めてるもの♡

グイ  
グイ

ほあ  
そ...それは...  
ただの生理現象と  
言いますか...  
き...気持ち良く  
なくても  
出ちゃうの!



あー  
梨子ちゃん  
これもう最大で  
良いよ

千歌ちゃん  
余裕出来るし

もの足りないから  
もっと強くしてって  
遠回しに言ってるんだよ

えっ…何？  
今の会話の  
どこから出てきたの  
その解釈!?

千歌ちゃん  
そういうことは  
ハッキリ言わないと  
伝わらないわよ？

いや…  
そんなこと  
言っていないし！

それじゃ  
最大にするわね♡

ちよ…  
ちよっと待って  
梨子ちゃん！

早い！  
私にはまだそれ  
早いよ！



うう…  
あううう…

はあ

よ…唯ちゃん…  
梨子ちゃん…  
これ…抜いて…

だ…駄目なら  
せめて…  
動きを弱く…

はあ

残念だけど  
駄目だね

動きを弱くじゃなくて  
もっと強くなって  
言えるようにならないと  
抜いてあげられないよ？

はあ

そ…そんなあ…

はあ

はあ

グググ  
グググ  
グググ  
グググ  
グググ  
グググ

あつ…駄目…  
何か来る…

はあ





あっ...あっ...  
やだ...駄目...  
で...出ちゃう...

はあ  
やだ...  
二人の目の前で...  
そ...そんな...

はあ  
はあ  
あっあっあっ  
あああああ...









はあ  
よ…曜ちゃん…  
梨子ちゃん…  
も…もう許して…

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

うん…

確かに千歌ちゃん  
もうだいふ良い感じには  
なっただと思うけど  
イッたの三回だったっけ？

まだイケるよね？

そ…そんなあ…  
もう無理…  
無理だよ

って…ああ…  
駄目…また…





あああ...  
あああああっ!!

これ...気持ち良い  
気持ち良いの認めるから  
もう休ませてえ!

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ハァハァ!

千歌ちゃん  
ほら千歌ちゃんが  
憧れてるμ'sの穂乃果さんの  
あの言葉思い出して

ファイトだよ！



一時間後…

曜ちゃん  
とりあえず  
もうこれくらいで  
良いんじゃない？

そうだね

これでもう千歌ちゃん  
私達の前でイクことには  
抵抗がなくなった  
だろうから…



そろそろ  
次の段階だね♡

……ちゃん……

……か……ちゃん……

千歌ちゃん……  
千歌ちゃん！  
そろそろ  
起きて！

……ん……ん……  
よ……曜ちゃん？



千歌ちゃん  
目覚めた？  
千歌ちゃん  
途中から疲れて  
眠っちゃってた  
んだよ

起こすのも悪いかなあ  
と思っ  
起きるの待ってたんだけど  
なかなか起きないから  
起こしちゃった  
ごめんね……

あつ  
良いよ  
良いよ  
何やってたか  
よく覚えてないけど  
寝ちゃった私が  
悪いんだし

それよりさ  
私今酷い夢  
見てたんだ  
なんか  
曜ちゃんと  
梨子ちゃんと  
拘束されて  
酷い目にあわされ  
ちゃうやつ

酷い目っていうのは  
ちょっと心外だなあ  
でもまあ多分  
それ夢じゃないよ？

えっ……  
あ……あれ……？

ガチッ



な...何これ...





何って  
さっきの続きだよ

今度は  
道具じゃなくて  
私達の手や口で  
千歌ちゃんを  
気持ち良くして  
あげるね♡

ニッコ



えっ...  
あっ...

ずんずん

うう...  
よ...囉ちゃん...  
ちゅ...ちゅっど...  
や...やめてよ...

あっ...駄目...  
そこ...駄目え...

くちゅ  
くちゅ

千歌ちゃん  
やめてって割には  
何かヌルヌルしたものが  
出てきたよ?

体は続けて欲しい  
みたいだね♡



ちよ...ちよっと...  
梨子ちゃんまで...  
あっ...駄目...  
そこ...舐めるの駄目!

それじゃ  
私はこつちを  
いただくわね♡

ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ

ああ...あああ...  
す...吸うのも駄目!

吸わないでえ!

どう?  
千歌ちゃん  
気持ち良いでしょ?

道具は道具でアリだけど  
道具よりこっちの方を  
気に入ってくれると  
うれしいな♡

どっちも  
無しだよ!

ひはひゃん  
わはひほ  
ひはふはひは  
ほう?

ひほひひひ?

くちゅ くちゅ

くちゅ  
くちゅ

梨子ちゃんは  
何言ってるか  
わかんないよ!

乳首吸うのやめて  
話してよ!

千歌ちゃん…

千歌ちゃんは  
私達のこと嫌い？

えっ…あ…  
それはもちろん

好きだよ  
二人とも大好き

でもこういうのは  
違うでしょ？

普通女の子同士で  
こんなことしないよね？  
絶対おかしいよね？  
普通じゃないよね？

ふ…普通！普通！  
全然おかしくないよ！  
私達くらいの沼津の子は  
みんなしてるよ？  
(た…多分ね…)

本当…？

ほ…ホントホント！  
と…東京なんて  
きつともっと  
凄いことしてるよ！

ね 梨子ちゃん！

梨子ちゃん  
ごめん…  
何か適当に  
ごまかして…

えっ…あ…  
うん…  
してる…してる…  
(た…多分ね…)

何で私に  
ふるのよ…

怪し…

うわ…  
千歌ちゃん  
じつとこつちを  
見てる…

曜ちゃん助けて

い〜

そ…それにほら  
東京と言えは  
あの穂乃果さん達も  
してたって言うし

特に仲の良い  
海未さん(ことりさんと  
三人でいつもこういこと  
してたらしいよ?)

な…何それ!  
本当?  
どこ情報?

私そんな話  
聞いたことないよ?

あーえーっ  
だ…ダイヤさん  
情報…かな…

ダイヤさん  
情報か…

うん…  
信用して良いのか  
悪いのか…



と…とにかく  
ほら…

好きな子同士だったら  
みんなしてるんだし  
私達もしようよ!

千歌ちゃんの  
言うような  
おかしいことなんて  
何もないよ?

うん…  
でもなあ  
何か怪しい…  
凄く怪しい…

あくもう  
とにかく

千歌ちゃんが  
私達のこと嫌い  
じゃないなら

千歌ちゃんも  
こういうエッチなこと  
好きになってくれれば  
良いの！

梨子ちゃん  
続けるよ

ちみ…ちみっと  
曜ちゃん!?



大丈夫  
安心して

私と梨子ちゃん  
千歌ちゃんも  
すぐにやめられなく  
してあげるから♡



ほら千歌ちゃん  
気持ち良くなっ  
てきたでしょ？

おまんこも  
びしょ濡れだよ？

ああ…うう…

曜ちゃん…  
梨子ちゃん…  
や…やめて…

はぁ

はぁ

ちゅぷちゅぷ

ちゅぷ

ちゅぷ

やめて  
なんて嘘ね

乳首だって  
こんなに  
ピンピンなもの♡

吸いごたえが  
出てきたわ♡

あーっ あーっ  
駄目えーっ  
駄目ええええ！  
はあ

ああ…  
千歌ちゃん…  
可愛い…  
おまんこ  
乳首弄られて  
悶える姿  
凄く可愛いよ♡

千歌ちゃん…  
千歌ちゃんの  
快感に耐える姿  
凄く素敵よ♡

ふ…一人とも…  
こんなこと…  
も…もうやめてえ！  
はあ

はあ

ぢゅぽ  
ぢゅぽ

ぢゅぽ

ぢゅぽ

これ以上  
続けられたら  
私…私…  
はあ  
ああ…駄目…  
もう…駄目え…





は...は...は...は...

うっはっはっは!!



私も曜ちゃんも  
千歌ちゃんの  
エッチな汁で  
びしょびしょに  
されちゃった♡

もうお嫁に  
行けないわね♡

どう?  
千歌ちゃん  
気持ち良かった?  
一杯出したね♡

う……う……  
「……めんなさい……」

って……  
私が悪いんじゃないよね?

違うよ  
千歌ちゃんが  
悪いんだよ？

千歌ちゃんが  
私達とかななか  
エッチなこと  
してくれないから  
こんなことに  
なっちゃったんだし

責任とって  
欲しいな♡

そうね  
千歌ちゃんには  
責任とって  
私達のお嬢さん  
なってもらわないと♡

ちょ…ちょっと  
待ってよ！

何でそうなるのぉ!?

千歌ちゃん  
もうそろそろ  
観念してくれた？

ほら  
千歌ちゃんも  
早くこっち側に  
来て

そうすれば  
楽になるわよ♡

二人の気持ちは  
分かったけど…

やっぱり私には  
まだ無理！

っていつか…



「……これは何!?」  
今度は私に  
何をする気なの!?

今度のは  
千歌ちゃんに  
素直になって  
もらうための  
仕掛けだよ

素直になって  
私別に嘘なんか  
言っていないし

あんまり  
しつこく  
怒るよ

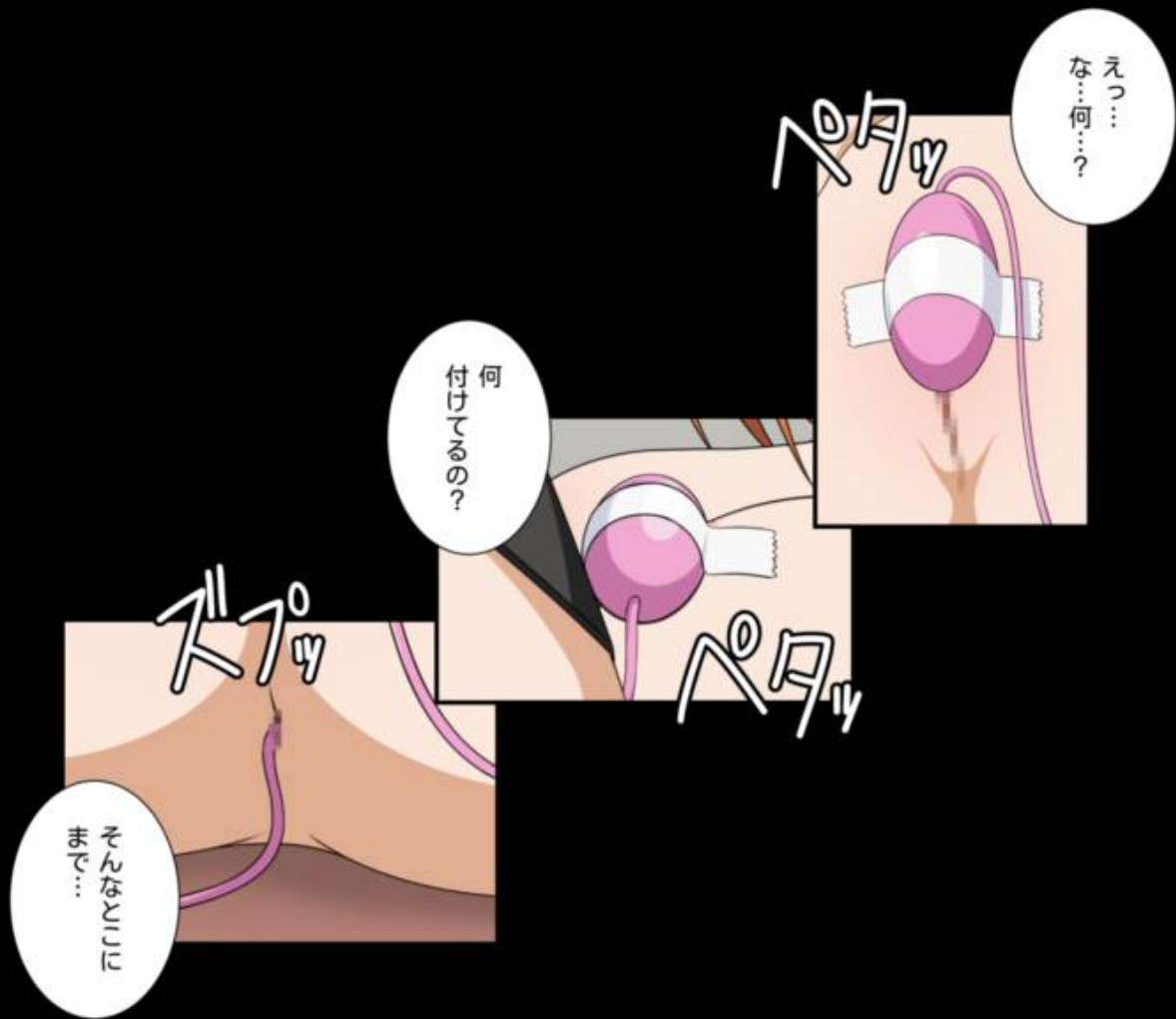
さて  
それはどうかな

千歌ちゃんは  
まだ気付いてない  
だけだよ

自分の  
エッチなことが  
したいって  
気持ちにね♡

NO! 17







こ…これ何!?

これは  
ローターって  
いってね

丸っこいところが  
ただ振動するだけの  
道具だよ

ここを回すとね  
電源が入るんだ♡

グル

あっ...やだ...  
何これ...

ちょ...ちよっと  
曜ちゃん...  
と...止めて...

あっ...駄目...  
あああ...





こ...こんなの全然...  
き...気持ち良く...  
なんか...

どう?  
千歌ちゃん  
気持ち良い  
でしょ?

あれ?  
振動弱かった?  
それじゃ  
最大で良いね♡

えっ...あ...  
ちよ...ちよっと  
曜ちゃん待って!

あっ...  
駄目え!

はぁ

はぁ

はぁ

グググ

グググ

グググ

グググ

ぐい



あああ…  
あああ…  
はあ

駄目…  
ダメエ…  
はあ

これ…  
止めて…  
止めてえ!  
はあ

はあ  
あつ…  
駄目…駄目…  
あつ…あつ…  
んああ…  
あああ…  
はあ

はあ

はあ

はあ

ゴウゴウ  
グググ



千歌ちゃん  
イッチやったね♡

やっぱり  
気持ち良かった  
んだね♡

も...もう良いでしょ  
これ...外してよ...

うくん  
まだ駄目かな

え？何で！？

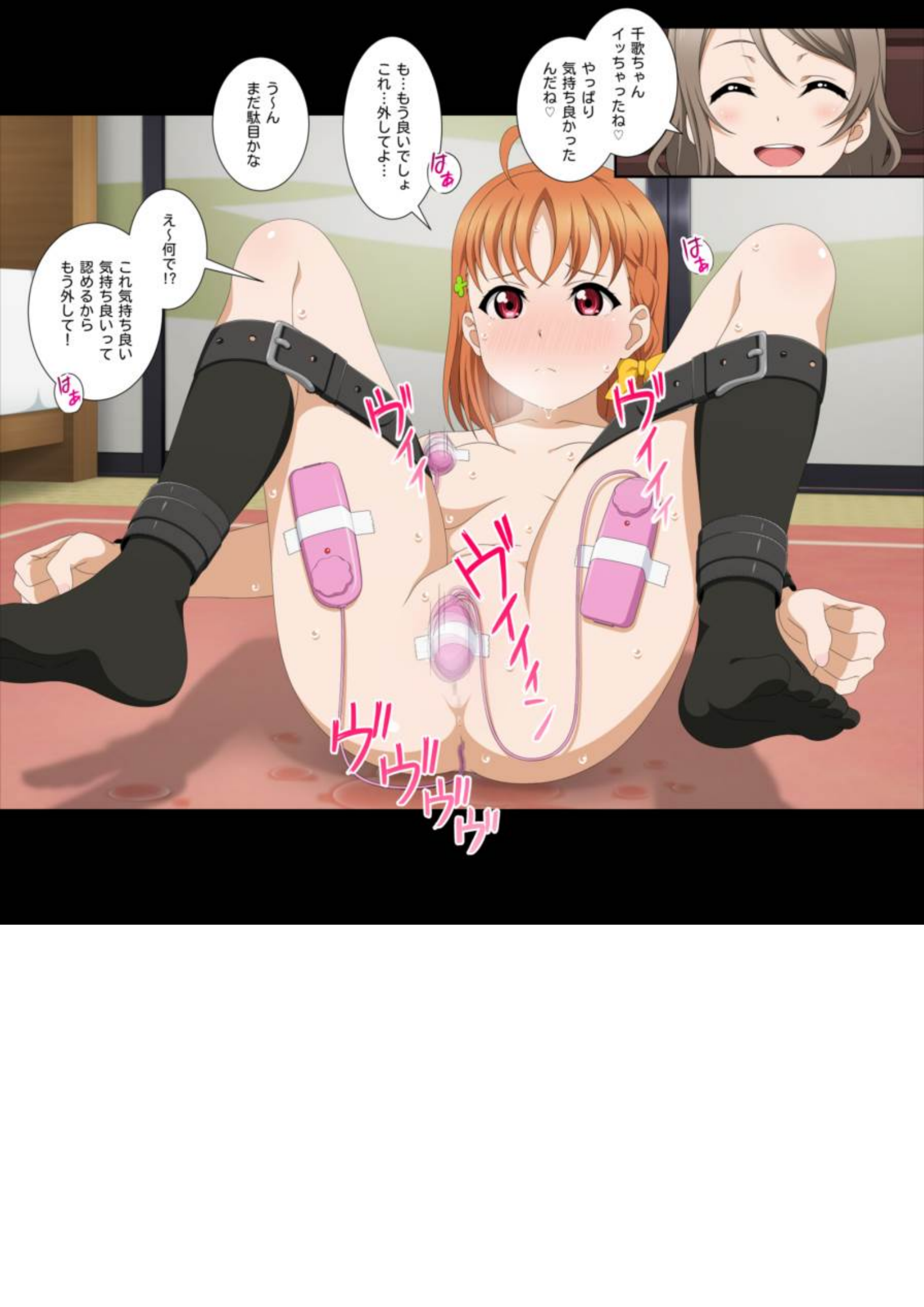
これ気持ち良い  
気持ち良いって  
認めるから  
もう外して！

はぁ

はぁ

はぁ

グググググ  
グググググ  
グググググ





それじゃ  
千歌ちゃんは  
気持ち良いの  
好き？



うん



う...うん...

エッチなこと  
したい？



えっ...あ...うん...  
そ...そこまでは  
どうかな...

今すぐに  
私達と三人で  
エッチなこと  
したい？  
体が疼いて  
堪らない？



千歌ちゃん  
まだ元気そうだし  
もうちょっと  
頑張って♡



えっ…ちょ…  
ちよっと!  
曜ちゃん!?

い…今の嘘!  
今すぐ三人で  
エッチなこと  
したいです!

体が疼いて  
堪らないです!

残念  
そんな見え見えの  
嘘ついても駄目だよ?

それじゃ  
後一時間くらい  
いってみようか♡

ちょ…ちよっと  
曜ちゃん!?

後一時間とか…  
無理! 無理いい!



一時間後...







ちと  
もうこのくらい  
良いかな？

う...うう...

そうね  
千歌ちゃん  
だいふ良い感じに  
なったし

もう十分ぞうね♡



千歌ちゃん  
よく頑張ったね

頑張った  
ご褒美に

次はまた私の手で  
気持ち良くして  
あげるよ♡

ずる

千歌ちゃん  
クリトリスの刺激だけじゃ  
物足りなかったでしょ？

今度は穴の中を  
弄ってあげるよ♡

な…何だろう…  
この感じ…

エッチなことされるの  
嫌なはずなのに…

曜ちゃんにされるの  
何かちょっと  
心地良く感じ  
ちゃってる…



どう？  
千歌ちゃん  
気持ち良い？

千歌ちゃんが  
気持ち良いのは  
このへんかな？

あっ…あぁぁ…  
あぁぁぁ…

そこ…駄目…  
あっ…あっ…

き…気持ち良い…

ぐにっ  
セクッ セクッ  
セクッ

ふふふっ  
千歌ちゃんの  
Gスポット発見♡

それじゃ  
ここを重点的に  
ガンガンいくよ♡

あああっ  
あああっ

駄目っ  
駄目ええ！

はあ

はあ

そこ駄目え！  
そこ凄いい！

あああ…何これ…  
曜ちゃんにされるの  
凄く良い…  
気持ち良い！

あああああっ  
駄目！やめ！  
もっど！

はあ

曜ちゃん！  
曜ちゃんあああん！

はあ

千歌ちゃん

それじゃ  
やめて欲しいのか  
続けて欲しいのか  
分からないよ？

ちゅ

ちゅ

じゅぽぽ

はあ

っ…続けてえ！  
曜ちゃん！  
もっど…もっど！

あ…あれ…？  
私…何言ってるの…？



千歌ちゃんも  
やっとなの子同士の  
エッチの魅力に  
気が付いてきたかな？

こうやって簡単に  
Gスポットを  
見つけられるのも  
上手く弄れるのも  
女の子同士だから  
なんだよ？

よ…唯ちゃん  
で…出ちゃう…  
アソコから…  
また…一杯…  
いっぱい…

ああ…駄目…  
何も考えられなく  
なってきた…

千歌ちゃん  
イキそうなんだね

そ…そう…それ  
イ…イク…って  
言うんだっけ？

私もう駄目…  
さっきあんなに  
出したのに  
またイキそう…

あっ…駄目…  
もう駄目…  
あっ…あっ…  
あああっ…

むにっ

ぢゅぶっ

ぢゅぶっ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



あ...あれ...?

い...イケない...  
な...何で...?



千歌ちゃん

ニヤリ

そう簡単には  
イカせられないよ?

実は  
弄り慣れてると

膣内の動きで  
イキそうな感じ  
っていうのが  
大体分かるんだ

だからほら  
こうやって

千歌ちゃんが  
イケそうで  
イケない状態を  
維持することだって  
出来るんだよ？

はあ

やだ…ちよっと…  
そ…そんな…

こんな生殺し  
みたいな状態  
耐えられないよ…

はあ

はあ

よ…囁ちゃん  
い…意地悪しないで  
イかせてよ！

はあ

はあ

セカッ  
セカッ  
ぐちゅ



それじゃ  
千歌ちゃん

イカせて  
あげる代わりに  
私達の言うこと聞いて  
一緒にエッチなこと  
してくれる？

はぁ  
そ…それは…

い…イキたい…  
エッチなことされるの  
気持ち良いし  
何だかちょっと楽しく  
なってきたし…

でも…でも…

はぁ

はぁ

もう今更  
悩むことないと  
思うけどなぁ

ぶっちゃけ  
もうしちゃってる  
ようなもんだし♡

むにっ

千歌ちゃん  
今はどう？  
気持ち良くない？  
ちょっと楽しくない？

私は千歌ちゃん  
とこやっつて  
エッチなことをするの  
凄く楽しいよ♡

千歌ちゃんは  
私達ともう  
こんなこと  
したくない？

それとも  
またしてみても  
良いかなって  
ちょっとは思っ  
てくれるかな？

ぐちゅ





諦めない！

もう良いよ  
私 曜ちゃん達の  
言うこと聞いて  
一緒にエッチな  
ことする！

みんなやってる  
っていう  
曜ちゃん達の  
言うことを  
信じる！

だからイカせて  
曜ちゃん！

キリッ



はあ  
あああ...  
良い...それ...  
そこ...あ...

任せて！  
いくよ  
千歌ちゃん♡

はあ

むにっ  
むにっ

はあ

あっ...あっ...  
あああ...あああ...  
はあ

ちゅぶっ  
ちゅぶっ  
ちゅぶっ





一杯出したね♡

ほら  
千歌ちゃん

今出した  
千歌ちゃん  
の  
愛液だよ  
舐めて♡

はあ

ちよ…ちよっろ  
囉ひゃん…

はあ

ずぶ

ちゃんと  
舐めない  
と  
指抜いて  
あげないよ？

うくっ…  
うむっ…

はあ

「イカせた相手の愛液を  
自分で舐めさせる」って  
一度やってみたかったんだ

ちゅ

ちゅ

ちよっと良いよね  
こっぴうの  
背徳感があつて

今度  
梨子ちゃんに  
してあげると  
きつと喜ぶと  
思うよ♡



はい  
もう一回  
イクよ♡

あ……  
……

ヒッパァ!



ああ…  
はあ…

曜ちゃん…  
気持ち良い  
気持ち良いよ

あっ…あっ…  
あっ…

曜ちゃん！

はあ

むにっ  
むにっ

どう？  
千歌ちゃん  
気に入って  
くれた？

それじゃ改めて  
もう一回聞けど  
私達とエッチなこと  
してくれるよね？

ちゅぷ

ちゅぷ

はあ  
する

私曜ちゃん達と  
エッチなことをよ

はあ

私も大好きな  
曜ちゃん達に  
気持ち良いこと  
してあげたい！

はあ

はあ

だからもっと  
色んなこと  
私に教えて

曜ちゃん！

はあ

はあ

はあ

曜ちゃんっすんっ！

ハァハァ！





作戦成功♡

いいよ  
千歌ちゃん

任せて♡

それじゃ  
千歌ちゃん

ちよつとそこで  
横になって

「……」

うん 良いよ

これで良しっど

どう?  
千歌ちゃん

こうやって  
女の子のアソコ同士を  
くっつけるの「具合合わせ」って  
言うんだって

このまま  
勃起したクリトリス同士を  
擦り合わせると  
凄く気持ち良いらしいよ♡

ど…どうって…  
あ…アソコ同士とか…  
曜ちゃん相手でも  
何かちょっとこれ…  
は…恥ずかしい…

実は私も  
実際やるのは  
初めてだから  
恥ずかしいよ

でも相手が  
千歌ちゃんだから  
平気♡

千歌ちゃんの  
クリトリス  
さっきので  
まだピンピンだし

私のも  
今日ここに  
来たときから  
ずっとピンピン  
だから

きつと凄く  
気持ち良いと  
思うよ♡

それじゃ  
いくよ

千歌ちゃん

ああ…  
千歌ちゃんの  
クリトリス  
暖かくて固くて  
気持ち良い…

擦れる度に  
股の先から  
千歌ちゃんを  
感じる…

ああ…良い…  
凄く良い…  
凄く良いよ

千歌ちゃん

よ…曜ちゃん  
私も同じ…

曜ちゃんを感じる…  
曜ちゃんのと  
擦れ合うの  
凄く気持ち良い…

又チュ

又チュ

あああ…  
あああああ…  
曜ちゃん…

曜ちゃん!



愛液がもう  
こんな一杯…

はあ

千歌ちゃんのと  
私のが絡み合って…

凄い音立てながら  
混ざり合ってる…

はあ

ああ…  
千歌ちゃん和我  
おまんこで一つに  
繋がってる…

気持ち良い…  
気持ち良い！

はあ

よ…曜ちゃん  
私も…私も  
気持ち良い…

はあ

曜ちゃんと  
混ざり合って…  
ああ…何この感じ…  
こんなの初めて…

はあ

ああ…  
曜ちゃん…  
曜ちゃん！

ズチュ

ズチュ

ち…千歌ちゃん…  
ごめん…

私もう駄目…  
い…イキそう…

はあ

本当は  
千歌ちゃんがイクのに  
合わせてイこうと  
思ってたんだけど…

はあ

千歌ちゃん  
こんなことが出来るなんて  
本当に夢の様なこと  
だったから

はあ

本当にうれしくて  
気持ち良くて  
もう我慢の限界…

だ…大丈夫だよ  
曜ちゃん

はあ

わ…私も  
曜ちゃんと同じで  
も…もう限界…  
だから…

ああ…駄目…  
ご…ごめん…  
さ…先にイクね…

はあ

だから  
私も限界だって  
言ってるでしょ

は…早くイッてよ  
私も一緒に…  
い…イクから…

はあ

ああ…駄目…  
イッちゃう…  
イッちゃう…

はあ

セクッ  
セクッ  
セクッ





ああ…  
千歌ちゃんのと私のが  
混ざりあった愛液が  
体中に一杯…

全身から  
千歌ちゃんを感じる…

凄く心地良い

ああ…  
こんな体験が  
出来るなんて

ちょっと  
強引だったと思うけど  
上手くいったし  
勇気を出して  
千歌ちゃんを襲ってみて  
本当に良かった

千歌ちゃん…  
好き…大好き!



ああ…  
何だろう…  
この感じ…

曜ちゃんを凄く  
近くに感じる…  
とても暖かい感じ

心地良い…

これが  
好きな相手と  
エッチなことを  
するってこと  
なんだ…

千歌ちゃん…  
ありがとう

凄く気持ち良かった  
私 千歌ちゃんと  
一つになれた気がする♡

私の方こそ  
ありがとうね  
曜ちゃん

こんなに  
気持ち良いこと  
教えてくれて

私も曜ちゃんと  
一つになれた  
気がするよ

前よりもずっと  
曜ちゃんを近くに  
感じるもん♡

私…  
エッチなことって  
何も分からずに  
何となく避けてた

特に  
女の子同士なんて  
ありえないって  
思ってたけど

全然そんなこと  
なかった

エッチなことって  
ただ気持ち良い  
だけじゃなく

互いの心を  
通し合わせる  
素晴らしい行為  
だったんだね♡

曜ちゃん達は  
それを私に教えようと  
してくれてたんだ♡

えっ…あ…  
そ…そうだよ  
千歌ちゃん

エッチな行為は  
決して邪な気持ちで  
行われるものじゃなくて  
心と心を通じ合わせる為の  
素晴らしい行為なんだ

と…特に  
女の子同士のはね

わ…私達は  
千歌ちゃんにも  
それを知って欲しくて  
こんなことをしたんだ

本当は  
千歌ちゃんのことを  
好き過ぎて  
半ば暴走ぎみに  
襲っちゃっただけ  
なんだけど…

やり方はちょっと  
強引だったかも  
知れないけど  
ちゃんと理解して  
くれたんだね

ま…まあ…  
結果オーライだし  
い…良いよね…

それじゃ  
千歌ちゃん  
もう一回しよ♡

…と思ったけど

私  
疲れちゃったし  
そ…そろそろ  
梨子ちゃんの  
番かな…



もう…  
私のこと忘れてる  
んじゃないかと思って  
心配したわよ

ご…ごめんごめん  
待たせちゃったね

夢中になっちゃって  
梨子ちゃんのこと  
ちよっと忘れかけてた

一緒になって  
約束なんだから  
しっかりしてよね

まあこれはこれで  
眼福だったから  
良いけど…

それじゃ  
ちよっと残念だけど  
交代



今度は梨子ちゃんが  
してくれるの？

私 梨子ちゃんとも  
色々してみたい

梨子ちゃん  
よろしくね





それじゃ  
千歌ちゃん

私は千歌ちゃんに  
道具を使った繋がり方を  
教えるわね

後で私に  
こんな風に壁や床に  
追い詰めた体勢で  
スフスフしてね♡

スフスフ？



そうこれを  
私のおまんこに  
スプスプツとね♡

反対側は  
千歌ちゃんのおまんこに  
挿入れてね♡

な…何それ？  
それをおまんこに  
入れるの？

口で説明するより  
実際にやってみた方が  
早いわね

とりあえず  
やってみましょう♡





とっつ?  
千歌ちゃん  
私達今  
この一本の張形で  
繋がっているのよ

ズグググ

あう...  
こうう...

だから  
私が動けば  
ほら...



あっ…何これ…  
あっ…あっ…

こうやって  
千歌ちゃんの  
膾<sup>な</sup>内に伝わるの♡

お互いを想って  
動かし合うの♡

ほら  
千歌ちゃんも  
やってみて♡



こ…こ…かな…?

ああ…  
そ…そうよ  
そんな感じ  
もっと激しく  
動かしてみて

ぐにっ

ぐにっ



ああ…良い…  
良い…そうよ  
そんな感じ

ああ…  
ち…千歌ちゃんが  
わ…私の膣内なかで…  
動いてる…

はあ

あああああ…  
千歌ちゃん…  
千歌ちゃん！

はあ

ちよ…ちよっと  
梨子ちゃん

そんなに動かれたら  
私の方にも…

あああ…駄目え…  
やだ…何これ…

はあ

くっ

くっ

くっ

膣内なかでウネウネ動いて  
ちよっと気持ち悪い…

でも…  
何か気持ち良い…

あっ…ああ…  
ああああ…



はあ  
ああ…だ…駄目…  
り…梨子ちゃん  
あんまり動かないで…

はあ  
私の膣内でも  
激しく動いてる…  
あっ…嫌あ…  
あああ…

はあ  
駄目よ…  
千歌ちゃんが  
激しく動くから  
私の方も  
止められないわ  
快感で勝手に体が  
動いちゃうもの

はあ  
わ…私も…  
梨子ちゃんが動くから…  
と…止められないよ…







ああああ…  
梨子ちゃんが…  
梨子ちゃんのが…  
私の膣内ちゅうかで…

はあ

あっ…あっ…  
あああああ…

んあああ…  
千歌ちゃんのおちんちん…  
凄い…凄い！

はあ

ああああ…  
駄目…これ…  
気持ち良い…

梨子ちゃんのこれ…  
気持ち良い！

はあ

はあ

はあ

ぐにっ

ぐにゅ

ぐにっ

梨子ちゃん…  
私…も…もう駄目…  
い…イキそう…

はあ

千歌ちゃん…  
わ…私も…  
もう限界…

あっ…駄目…  
イク…イクううう！

はあ



干渉ちゃめめめめん!!

糞チヤメメメメん!!

ヒキ  
ヒキ

WALL POCKET



あああ... はあ...  
駄目...

はあ  
一回イッたくらいじゃ  
収まらない...

り... 梨子ちゃん...?

そ... そんなに  
激しく動かれたら  
私もまた...

あっ...  
駄目... ダメエ!

はあ  
ああああ...  
千歌ちゃんがまた  
私の臆内で激しく...

あっ... あっ...  
あああああ!

はあ

はあ

はあ

はあ

△ににっ

△にゅ

△にゅ

ああ駄目…  
止まらない…  
止まらないわ  
千歌ちゃん！

はあ

千歌ちゃんが  
動くから  
止まらない！

はあ

わ…私だって  
梨子ちゃんが動くから  
止められないよお！

はあ

はあ

はあ

ああああ…緊…  
千歌ちゃん…  
千歌ちゃんああん！

梨子ちゃんああん！

スチュ スチュ  
スチュ スチュ



ど…どうだった？  
千歌ちゃん

これが  
道具を使った  
繋がり方よ

はぁ

はぁ  
こうやって  
一本の道具道具で繋がって  
互いを感じ攻め合うの

男性としている様な  
気分も味わえるわ

き…気持ち…  
良かった？

私こんな  
初めてだったよ

うん  
気持ち良かったよ

梨子ちゃんに  
犯されてる  
みたいだった

はぁ

でもそれが  
凄く心地良くて

梨子ちゃんと  
一つになってる  
気がしたよ

はぁ





き…気に入って  
くれた？



うん  
とっせ♡



ち：千歌ちゃんが  
私にしてみても  
くれるかな





私のここを  
千歌ちゃんの肉棒で  
スブスブして♡

さあ良いわよ  
千歌ちゃん♡



道具は男性の射精の様に  
愛液を発射出来る  
バージョンがあるから  
こっちを使ってね♡



ほら  
早くして♡

えっと…  
こ…こんな感じで  
良いのかな？

それじゃ  
いくよ



あっ...あああ...

そ...そうよ  
千歌ちゃん  
それで良いわ

そ...そのまま  
こ...腰を使って...

そ...その肉棒ペニを  
出し入れしたり...  
くねらせたり...  
し...してみて



ああああ…  
良い…良いわ…  
千歌ちゃん

はあ

そう…  
その調子…

あっ…あっ…

はあ

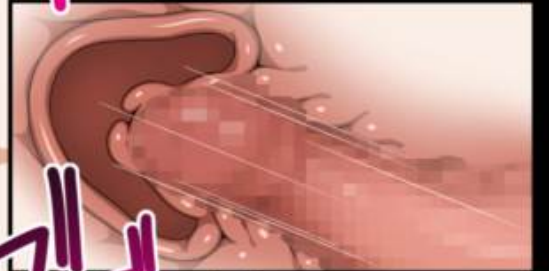
ち…千歌ちゃんの肉棒が…  
わ…私の膣内で…暴れて…

ああ…  
駄目…そんな…  
す…凄い…

千歌ちゃん…  
千歌ちゃん、ああん！

はあ

ズズズ  
ズズズ  
ズズズ



り…梨子ちゃん…  
腰を動かす度に  
私の方にも快感が  
伝わって来て…



んあ…だ…駄目…  
き…気持ち良い…



はあ  
そ…それで良いのよ

千歌ちゃんも感じて  
私の膣内を…

千歌ちゃんの  
その肉棒で！  
はあ

ズズ  
ズズ  
ズズ  
ズズ  
ズズ  
ズズ

り…梨子ちゃんの膣内…  
き…気持ち…良すぎて…

腰が…  
止まらない！  
はあ

り…梨子ちゃん…  
私…もう駄目…



い…イッちゃう…  
イッちゃううう…

はあ

ち…千歌ちゃん…  
わ…私もよ

い…一緒に…  
一緒にイキましよう…

はあ

はあ

はあ

はあ

わ…私の子宮に…  
千歌ちゃんの…愛液を…  
一杯…一杯出してえ!

ああ…駄目え…  
い…イクう…

はあ

ズググググ  
ズググググ



あああ...あああ...  
梨子ちゃん...

梨子ちゃんさあさあさあー！

あああああっ！  
来る！来る！

千歌ちゃんの愛液が  
私の子宮に一杯...  
一杯いっいっい！



ああ...あああ...  
ち...千歌ちゃんああああん！

あ...あ...あ...







ち…千歌ちゃん…  
そ…外にも…  
外にも頂戴!

私の全身に  
千歌ちゃんのお愛液を  
かけてえ!

はあ

はあ

はあ

はあ

ああああ…  
千歌ちゃんのが  
こんなに…

はあ

はあ  
全身から  
千歌ちゃんを感じる…

私…今…  
全身千歌ちゃん  
まみれになってる…

はあ

はあ

はあ

あああ…千歌ちゃん…  
好き！好き！  
大好きい！

はあ

トク！トク！  
トク！トク！

トク！トク！  
トク！トク！  
アア！





ありがとつ  
千歌ちゃん  
とっても  
気持ち良かったわ♡

やっぱり  
千歌ちゃんは  
受けに回るより  
こうやって  
攻める方が  
向いてるわね♡

そうなの？  
自分では  
よく分らない  
けど…

絶対そうよ♡

曜ちゃんも  
そう思うでしょう？

えっ…私？

ど…とうかなあ  
別に千歌ちゃんは  
攻めっという  
タイプでもない  
気がするけど…

分かってないのね…

でも…  
曜ちゃんも  
千歌ちゃんに  
挿入れてもらえば  
きっと分かるわ♡



えっ…  
ちよ…ちよっと…  
梨子ちゃん？

今よ  
千歌ちゃん

曜ちゃんにも  
挿入れてあげて♡

じゅんじゅん

あっ…駄目っ…  
あああ…

グググ

それで良いわ  
千歌ちゃん

後は千歌ちゃんの  
欲望が赴くままに  
曜ちゃんを犯して  
あげて♡

きっと曜ちゃんも  
喜んでくれるわ♡

分かった  
やってみる！

えっ…  
ちよ…ちよっと  
千歌ちゃん  
待って！



ああ…  
曜ちゃんの膣内も  
凄く気持ち良い♡

あっ…ああ…  
んああああ…

曜ちゃん  
千歌ちゃんと  
エッチなこと  
色々したいん  
だったわよね？

そ…そうだけど…

わ…私…  
攻められるのは  
に…苦手で…

あっ…ああ…

大丈夫  
攻められるのも  
すぐに好きに  
なるわ♡

ほら快感に  
身を任せて♡

ズズ

ズズ



あああ…凄い…  
凄く気持ち良い♡

腰が止まらないよ  
曜ちゃん♡

はあ

ねえ  
曜ちゃんも  
気持ち良い？

はあ

私のこれ  
気持ち良い？

はあ

あつ…あつ…  
ち…千歌ちゃん…  
いきなりそんな…  
激し過ぎ…

あつ…んああ…  
ああああ…

はあ

千歌ちゃん

曜ちゃん  
凄く気持ち良い  
みたいよ

あんまり良すぎて  
上手く答えられない  
みたい

その調子で  
がんばって♡

うん  
分かった  
まかせて♡

り…  
梨子ちゃん…？

はあ

ズチュ

ズチュ





あああああ…  
あああああ…

千歌ちゃん…  
千歌ちゃん…

はあ



よ…曜ちゃん…  
私…そろそろ…  
出そう…

はあ

曜ちゃんの膣内なかで  
イッちゃって  
良いよね？

えっ…な…  
膣内なかで…

ち…千歌ちゃんの…  
愛液が…わ…私の  
膣内なかに来るの…？

はあ

はあ



又チュ

又チュ

はあ

ええそうよ  
とっても気持ち  
良いわよ♡

さあ 曜ちゃんも  
大好きな千歌ちゃんに  
中出ししてもらい  
まじょう♡

ち…千歌ちゃんが  
私の膣内なかに…

はあ

千歌ちゃんが…  
私に愛液あいを  
注いでくれる…







ドガハッ

あああっ...あああ...  
あああつ!

千歌ちゃんが  
私の臍内に...  
子宮にい!

わ...  
...  
...

ドガハッ

あああああ...  
気持ちいい...  
気持ちいい!

千歌ちゃん...  
千歌ちゃん...  
千歌ちゃん...!



ふふふっ  
曜ちゃんも  
イツちゃった  
みたいね♡

どう?  
千歌ちゃんに  
中出しされるの  
気持ち良かった  
でしょう?  
曜ちゃん♡

あああ…  
千歌ちゃんが…  
私の子宮なかにいる…  
あ…暖かい…

千歌ちゃん…  
千歌ちゃん…

はあ

ああ…  
もっと欲しい…  
千歌ちゃん…  
千歌ちゃん…

はあ





ご満悦な様ね♡

気に入ってくれて  
なによりだわ♡

本当は  
私に順番をまわして  
欲しいんだけど…

仕方ないわね…  
もう少しだけ  
千歌ちゃんを  
貸してあげるわ♡



はあ  
私も曜ちゃん  
の愛液一杯かけられ  
ちゃった♡

はあ

はあ  
ああ…  
気持ち良い…  
気持ち良いよ  
千歌ちゃん♡

はあ  
子宮も外も体中  
千歌ちゃん一杯♡

はあ  
私だって  
二人の愛液で  
ズブ濡れよ♡

ヌチュ

ヌチュ

はあ

曜ちゃん  
梨子ちゃん  
楽しいね♡

三人でこうやって  
エッチなことをするの  
凄く楽しい♡

私ハマっちゃんさう

そうね  
千歌ちゃん  
私もそう思うわ♡





きゅん...

それじゃ  
もうそろそろ  
良いわね

くほっ





また私にも頂戴♡

千歌ちゃん…



ちよ…ちよっと  
待って！  
梨子ちゃん！

私もまだ  
千歌ちゃんに  
して欲しい！



千歌ちゃん  
挿入れて♡

えっっ  
二人とも？

うぐん…それじゃ  
手も使って  
二人同時にしてみるけど  
上手く出来なくても  
許してね

手って…ま…まさか  
千歌ちゃんから  
フィストファックの  
提案が…

えっ…  
何それ？

ちよ…ちよっと  
怖いけど…  
そ…それじゃ…

最初は私が  
千歌ちゃんの拳を  
受け止めるわ！  
きつと唯ちゃんには  
まだ早い！

えっ…何…  
拳って…

えっと…  
り…梨子ちゃん  
千歌ちゃんが言う  
「手」って…

この道具<sup>デバイス</sup>を手で持って  
してくれるって  
意味だと思っよ…

えっ…あつ…  
そ…そうよね…

し…知ってたわ！  
知ってたけど…  
ちよ…ちよっと一瞬だけ…  
ホント一瞬だけ別の事と  
勘違いしちゃったかな…  
ハハハッ…

えっと…  
それじゃ最初は  
曜ちゃんが股間のやつで  
梨子ちゃんが手のやつね

そうだね  
本来ならさっきまで  
してもらってた私より  
股間のは梨子ちゃんの方が  
先だと思うけど…

梨子ちゃん  
最初は手が  
良いみたい  
だからね♡

て…手が…  
そういう意味なら

私を先に  
して欲しかったんだけど…  
ま…まあ…仕方ないわね…

それじゃ  
いくね



ああ…  
気持ち良いよ  
千歌ちゃん…

私  
この千歌ちゃんと  
繋がってる感じ  
凄く好き…

あっ…良い…  
あっ…あああ…

はあ

はあ

あああ…  
私…今…千歌ちゃんに  
賣められてる…

こんな  
いやらしい道具で…  
大切なおまんこを…

んあああ…  
す…凄い…  
は…激しい…  
お…おまんこ…  
壊れちゃう…

はあ

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

えっ…ごめん…  
梨子ちゃん  
キツかった？

あっ…いや…  
いいの…

千歌ちゃんは  
私の言葉は気にせずに  
そのまま続けて！



はあ  
あああ…あああ…  
気持ち良い…  
気持ち良い！

千歌ちゃん…  
好き…好き！

はあ  
あああ…  
おまんこの中が  
くちよくちよに  
かき乱されて…

んああ…嫌だ…  
こんな…道具に…  
感じちゃうなんて…  
あつ…あつ…あつ…

気持ち良い…  
気持ち良い！  
もっとして…  
もっと続けてえ！



わ…私…  
もう駄目…

はあ  
い…イキそう…

丁度私も  
曜ちゃんの膣内に  
出したくて...出したくて  
堪らなくなってたんだ

それじゃ  
一緒にイこう  
曜ちゃん♡

あっ...駄目...  
もう駄目...

もうイク...  
もうイク...

千歌ちゃん...  
千歌ちゃん...

セクッ

セクッ





千歌ちゃんあああああんー！

あ…千歌ちゃんあああんー！

アア！  
ボボボッ

あああ…  
千歌ちゃんのお愛液が  
また私の子宮に  
流れ込んでくるう！

凄く…  
凄く心地良い！



曜ちゃん…  
気持ち良かったよ

私…  
曜ちゃんのこと  
一杯感じた

曜ちゃんのこと  
ますます好きに  
なっちゃった♡

はぁ  
ああああ…  
千歌ちゃん…  
挿入れて…  
挿入れて！

私にも早く  
挿入れて！

はぁ

はぁ  
千歌ちゃんの  
股間のを！

はぁ

そっだね  
次は梨子ちゃんだね♡



んっ…あああ…

ち…千歌ちゃんのおちんちんが…私の臍内に…

ああああ…千歌ちゃんを感じる…

気持ち良い…気持ち良い…さっきまでよりもっと…すっくと…

あああぁっ…

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ





はあ

ああ…ああ…

はあ

千歌ちゃん…  
千歌ちゃん…  
好き…好き…  
大好き！

はあ

はあ

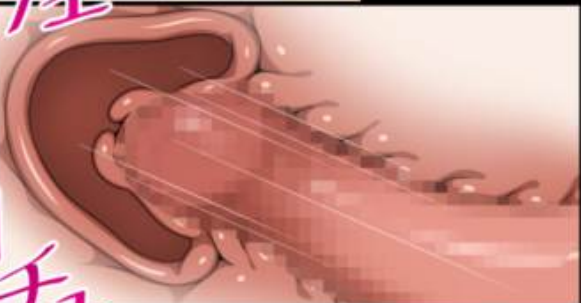
千歌ちゃんの肉棒で  
私のおまんこ…  
もっ…もっ…  
くちよくちよにしてえ！

はあ

ハチュ

ハチュ

ハチュ



あーっ あーっ  
おちんちんの先が  
子宮に当たって…

あっ…あっ…  
ああああ！

イク…イク…  
もう駄目…  
イッちゃうう…

千歌ちゃん…  
一緒に…  
一緒に射精して！

私の子宮に  
千歌ちゃんを  
頂戴！

い…良いよ  
梨子ちゃん

私も梨子ちゃんの  
子宮に射精したい！

セクッ  
セクッ  
セクッ

一緒にイッて…

梨子ちゃん！

あっ駄目…  
イク…イク…  
イクううう…









曜ちゃん  
梨子ちゃん

凄く気持ち  
良かったよ♡

こうやって  
三人でエッチなこと  
するの凄く楽しいね  
私すっかり  
ハマっちゃった♡





私達まだ  
全然物足りないわよ♡

あれ？  
千歌ちゃん  
もう終わり？

あれ？

えっ  
まだするの？

千歌ちゃんは  
嫌？

嫌じゃないけど…  
あんまりやりすぎると  
明日のダンス練習とかに  
響くよ？

大丈夫なんか  
なるって♡

そうそう  
逆にこのまま半端な  
気持ちで終わると  
練習に集中出来ないわ♡

もう…  
仕方ないなあ

それじゃもう  
二人とも足腰  
立たなくなるまで  
イクからね！

一時間後…

ああああ…  
千歌ちゃん  
好き好き好き！

はあ  
ああ…もっとな  
もっとな私を  
千歌ちゃん  
一杯にして！

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

スチュ  
スチュ

スチュ

スチュ

スチュ

はあ

はあ



はあ  
あつ...あつ...  
凄い...凄い...  
何回でも  
イケちゃう...

はあ  
千歌ちゃん...  
千歌ちゃんああああん!

はあ  
ああああ...  
私の全身が...  
千歌ちゃん...  
満たされていく...

はあ  
千歌ちゃん...  
千歌ちゃんああああん!







パーティーはまだ  
終わらないよ♡





曜ちゃん  
梨子ちゃん

今日はありがとう

私 最初は  
戸感っちゃったけど  
凄く楽しかった

これまでより  
ずっと二人を  
感じられる様  
になった

今までも  
凄く近くに  
感じてたけど

それよりも  
もっとずっと  
近づいた気がする

それじゃもう  
私達一心同体だね♡

そうだね  
そうかも知らない

「かも知らない」  
じゃなくて  
絶対そうよ♡

だって実際  
一つにくっついた  
んだもの♡

えへっ  
そうかな

そうだと  
良いな♡



そう  
私と梨子ちゃんはもう  
千歌ちゃんから  
離れられないからね♡



大丈夫よ  
千歌ちゃん  
安心して  
私も曜ちゃんも  
千歌ちゃんのこと  
これからも  
ずっとずっと  
大好きだから♡

エッチなことなんて  
考えたこともない

ただ普通に生活して  
普通に過ごす

輝きなんて手に  
出来るはずもない  
普通怪獣だった過去の私…

未来の私は  
「輝き」を二つも  
手に入れたよ♡



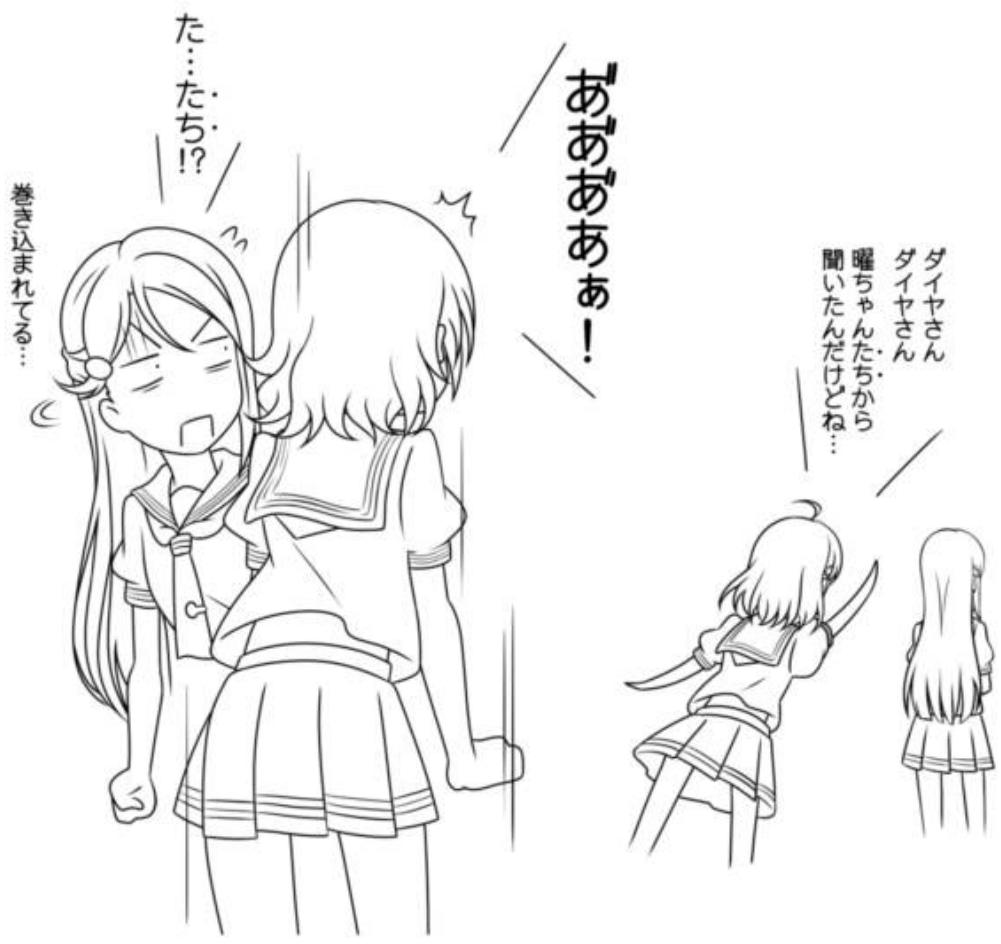
*May Your Love Never End !*

曜ちゃん  
ずっと気になってるんだけど  
あの「ダイヤさん情報」って  
本当なの？

ひそひそ

その話…実はね…  
ダイヤさんにバシると  
ちょっと都合悪くて…  
内緒にして欲しいんだけど…





た...た...ち...!!?

巻き込まれてる...

お...お...お...お...!

ダイヤさん  
ダイヤさん  
曜ちゃんたちから  
聞いたんだけどね...